

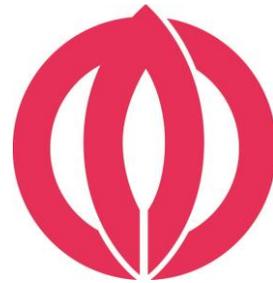
日時：令和6年4月16日（火）

11時～12時

場所：庁議室

令和6年度

第1回 鹿島市DX推進本部会議



■ 主な内容

■ 00 市長 から

■ 01 デジタル田園都市国家構想交付金の採択結果

■ 02 令和5年度DX推進の取組総括

■ 03 令和6年度DX推進の取組方針

松尾市長（DX推進本部長）から

■ 主な内容

■ 00 市長 から

■ 01 デジタル田園都市国家構想交付金の採択結果

■ 02 令和5年度DX推進の取組総括

■ 03 令和6年度DX推進の取組方針

■ 事業費

219,541千円

(うち、採択額(国費)118,948千円) ※採択額は県内3番目)

※ デジタル田園都市国家構想交付金とは

「デジタル田園都市国家構想」を推進するため、デジタルを活用した地域課題の解決や魅力向上の実現に向けた地方公共団体の取組を支援する交付金

▶ 財源も確保しながら、地域課題の解決、市民の暮らしの変革及びサービスの充実を実現する取組を進める！



デジタル田園都市国家構想交付金：採択結果一覧

No.	事業名	事業費(採択(補助)額)	事業タイプ	事業概要
1	住民向け行政サービスDX事業 (「行かない・書かない・待たない」 人に優しい役所づくり) ※デジタル実装タイプTYPE1の採択額では、 県内45事業のうち2番目の規模	143,034千円 (71,517千円)	・デジタル実装タイプ TYPE1 ・補助率1/2	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル総合窓口(公式LINE)の拡充 ・行政手続のオンライン化推進 (電子申請システム導入) ・地図情報Web公開システム整備 (公開型・統合型GIS) ・窓口DX(書かない・待たない窓口) ・窓口キャッシュレス決済
2	事業者向け行政サービスDX事業 (入札契約システム導入)	7,198千円 (3,599千円)	・デジタル実装タイプ TYPE1 ・補助率1/2	<ul style="list-style-type: none"> ・電子入札・契約管理システム整備
3	チームかしたら ローカルSDGs推進事業	14,244千円 (7,122千円)	・地方創生推進タイプ ・補助率1/2	<ul style="list-style-type: none"> ・ローカルSDGsを推進するため、「チームかしたらリビングラボ」を開設し、官民連携したまちづくりを行う。 ・デジタルを活用した第一次産業の収入増とレジリエンス向上のための事業
4	kashima×(クロス)サテライトオフィス事業 ※デジタル実装タイプ地方創生テレワーク型は、 全国22事業のうち県内では鹿島市・有田町のみ	55,065千円 (36,710千円)	・デジタル実装タイプ 地方創生テレワーク型 ・補助率2/3	<ul style="list-style-type: none"> ・サテライトオフィス等開設支援事業(民間運営施設開設支援等) ・プロジェクト推進事業(企業誘致プロモーション、マッチングイベントほか) ・進出支援事業(進出企業に対する引越し費用や消耗品等支援ほか)
合計		219,541千円 (118,948千円)		

※ 昨年度は採択なし

■ 主な内容

■ 00 市長 から

■ 01 デジタル田園都市国家構想交付金の採択結果

■ 02 令和5年度DX推進の取組総括

■ 03 令和6年度DX推進の取組方針

水戸 理臣 氏（R5.5～R6.3.31）

森川 壮太郎 氏（R6.4～）



具体的な活動

- ① DXの具体的な施策立案(行政・農業・環境など様々な分野)
- ② 庁内業務の効率化支援(インボイス対応領収書等発行など)
- ③ 行政手続オンライン化支援(公式LINE・LoGoフォームなど)
- ④ シティプロモーションの強化(ふるさと納税、プロモーション動画など)

経歴

- ・(同)EXNOA開発支援部にてプロジェクトリーダーとしてプロジェクトを推進
- ・令和5年度は、北海道大空町において起業人としてDX、ふるさと納税、シティプロモーション、GXなどに従事



友だち登録数
5,877人
R6.4.12時点

これまでの構築

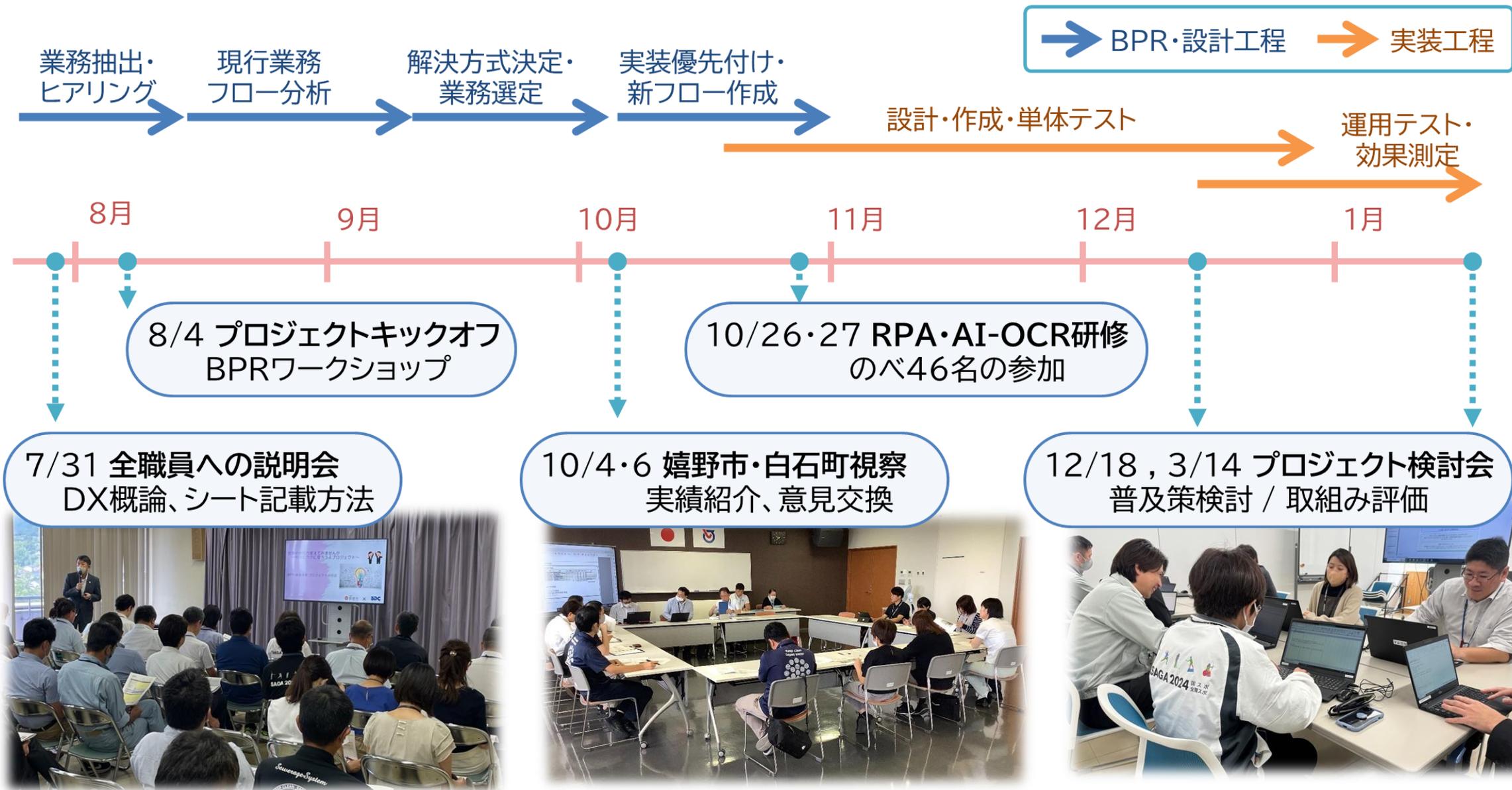
- ① オンライン申請(転出転入、子育てや介護関連など)
オンライン予約(確定申告、図書館の本の貸出、マイナンバー更新)
- ② 道路、河川、不法投棄や動物死骸の損傷報告(通報)
- ③ ごみの収集日の事前通知
- ④ AIチャットボットによるごみの分別方法の自動応答 など

今後のバージョンアップ

- マイナンバーカードによる**公的個人認証機能**！
- オンライン申請の拡充！
(**住民票や戸籍謄本、税証明、水道開閉栓届**など)
- **公共施設**(主に体育施設)のオンライン予約！
- 上記、申請・予約に伴う**キャッシュレス支払い**！

役所へ
行かずに
手続き完結





BPRプロジェクトの実証結果（評価）

No	対象業務名	対象部門	対応前 (時間)	対応後 (時間)	削減時間
1	健康チャレンジ	保険健康課予防係	27	17.5	9.5
2	健康教室の記録入力業務／高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	保険健康課予防係	17.5	4.8	12.7
3	健診アンケート入力業務	保険健康課予防係	288	204	84
4	国民健康保険事業の実施状況報告	保険健康課国保係	31	1	30
5	国民健康保険高額療養費支給処理	保険健康課国保係	320	144	176
6	市営住宅住宅使用料センターカット入力業務	建設住宅課住宅係	7	2	5
7	道路占用・法定外公共物占用更新業務	建設住宅課土木管理係	200	未測定	-
8	固定資産入力	水道課工務係	50	10	40
9	ひとり親家庭等医療費助成申請支払処理	福祉課社会福祉係	756	504	252
10	保育所入所申込処理業務	福祉課幼保係	124	未測定	-
11	子どもの医療費助成申請支払処理	福祉課幼保係	213	201	12
12	重度心身障害者医療費助成申請支払処理	福祉課障がい福祉係	870	450	420
13	地籍システムへの入力作業	税務課課税係	330	未測定	-
14	軽自動車税／納付確認システム	税務課課税係	42	1	41
15	社会保険届出書作成プログラムデータ入力(定時決定・賞与支払届)	総務課職員係	24	8	16
16	人事評価結果集計業務	総務課職員係	52	未測定	-
17	嘱託員管理業務	総務課総務係	7	3	4
18	年金各種申請書類受付・進達簿作成・管理業務	市民課市民年金係	177.5	170	7.5
19	放課後児童クラブ入所申込受付業務	福祉課社会福祉係	88	19.5	68.5
20	特別保育事業実績集計業務	福祉課幼保係	48	16	32

分析結果

- ① 定型的な入力・チェック作業が多い業務は効果が高い
(保険健康課や福祉課、総務課など)
- ② 同部署で1つ成功事例ができれば、横展開が起きやすい(雰囲気醸成)
- ③ ツールを育てる視点も必要。1回の実装だけでなく、改善を継続する必要がある

定性評価

- ・転記作業の自動化によるミスの防止、心理的不安軽減
- ・改善風土の醸成、職員の意識・リテラシーの向上
- ・システム作業環境の改善(複数人対応可能)

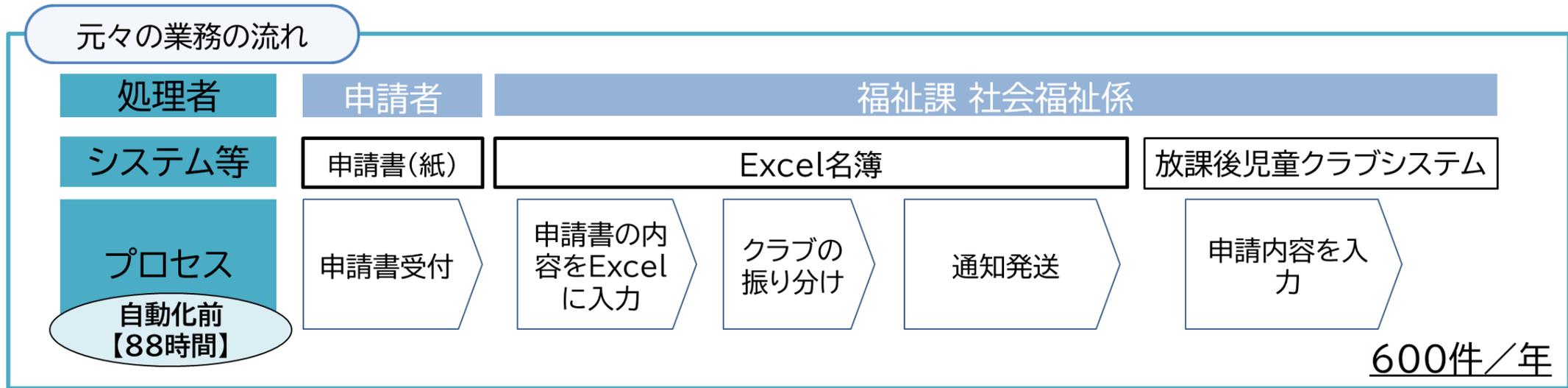
定量評価

合計(未測定除く) 1203.2

削減率(未測定除く) 40%

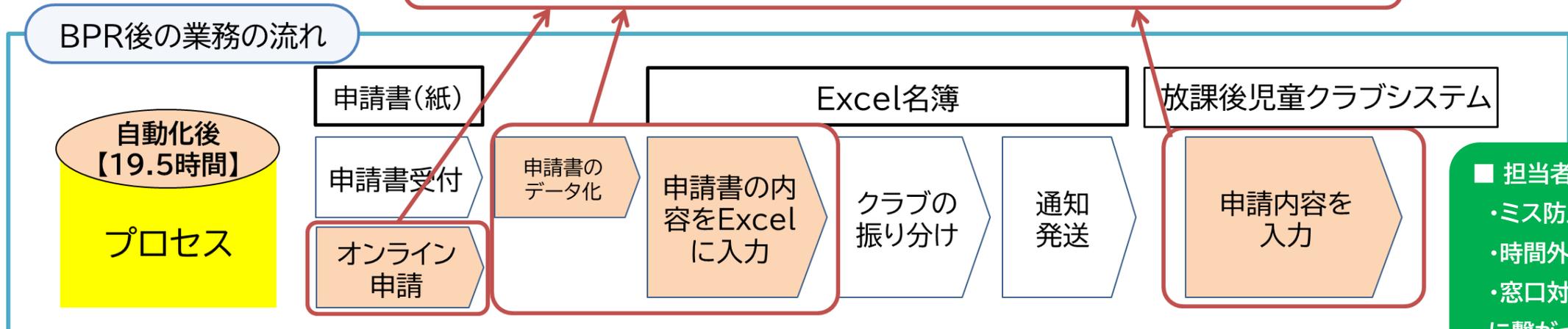
時間外勤務
の削減にも
繋がる！

【参考】事例／福祉課／放課後児童クラブ入所申込受付業務



68.5時間削減
77.8%

1. オンライン申請を可能に(LoGoフォーム)
2. 紙申請書記載内容の名簿作成自動化(AI-OCR/Excelマクロ)
3. 名簿から事務システムへの登録自動化(RPA)

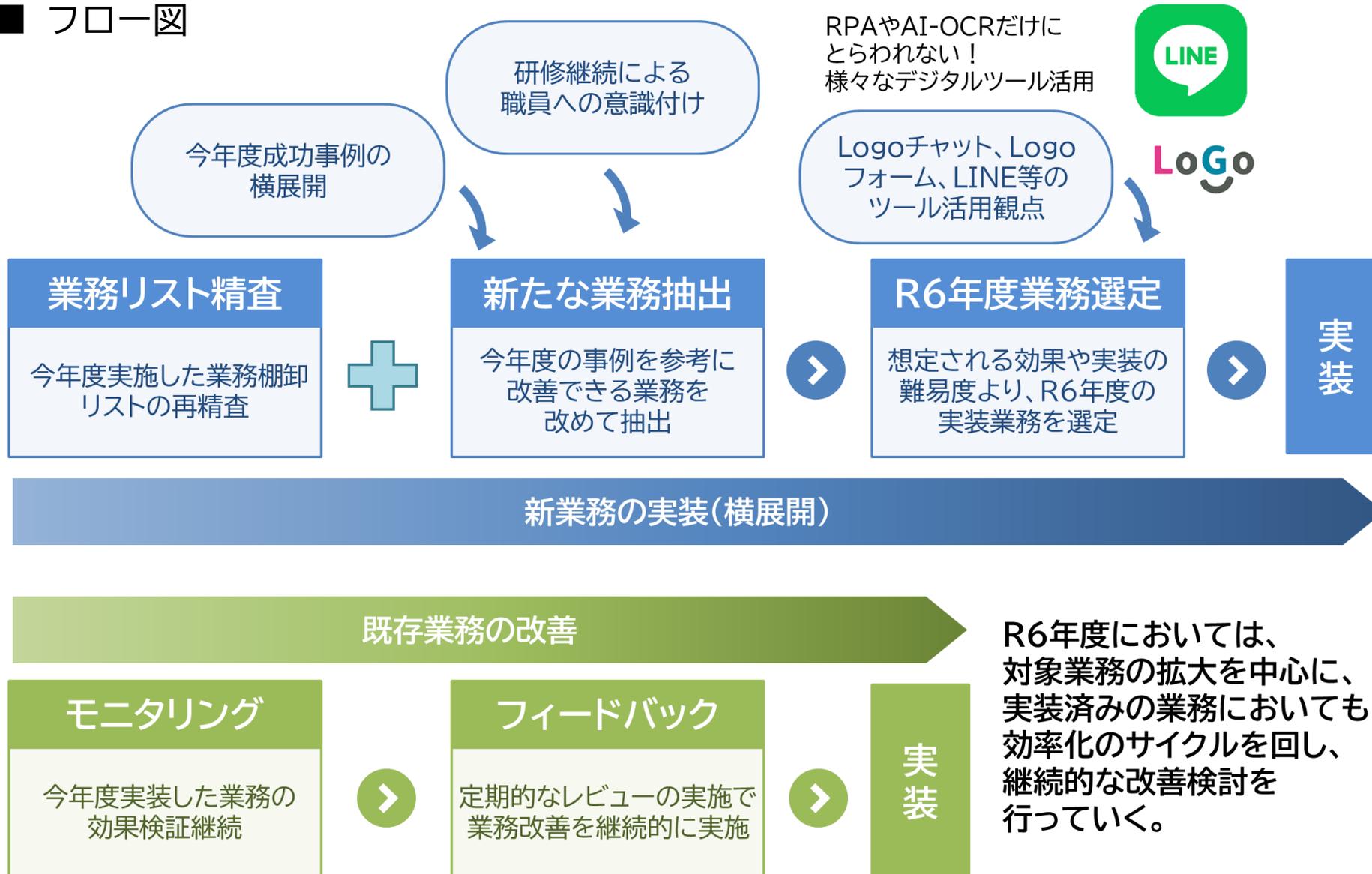


■ 担当者の声

- ・ミス防止
- ・時間外勤務の削減
- ・窓口対応時間の削減に繋がった！

R6年度BPRプロジェクト取組計画

■ フロー図



人にしかできないことに注力できる環境づくり



政策立案や新規事業検討



相談業務や窓口対応の充実

R6年度においては、対象業務の拡大を中心に、実装済みの業務においても効率化のサイクルを回し、継続的な改善検討を行っていく。

■ 主な内容

■ 00 市長 から

■ 01 デジタル田園都市国家構想交付金の採択結果

■ 02 令和5年度DX推進の取組総括

■ 03 令和6年度DX推進の取組方針

窓口DX
(書かない・待たない窓口)



公式LINE拡充
(申請～決済、施設予約)



行政サービスDX

「行かない・書かない・待たない」

人にやさしい役所づくり

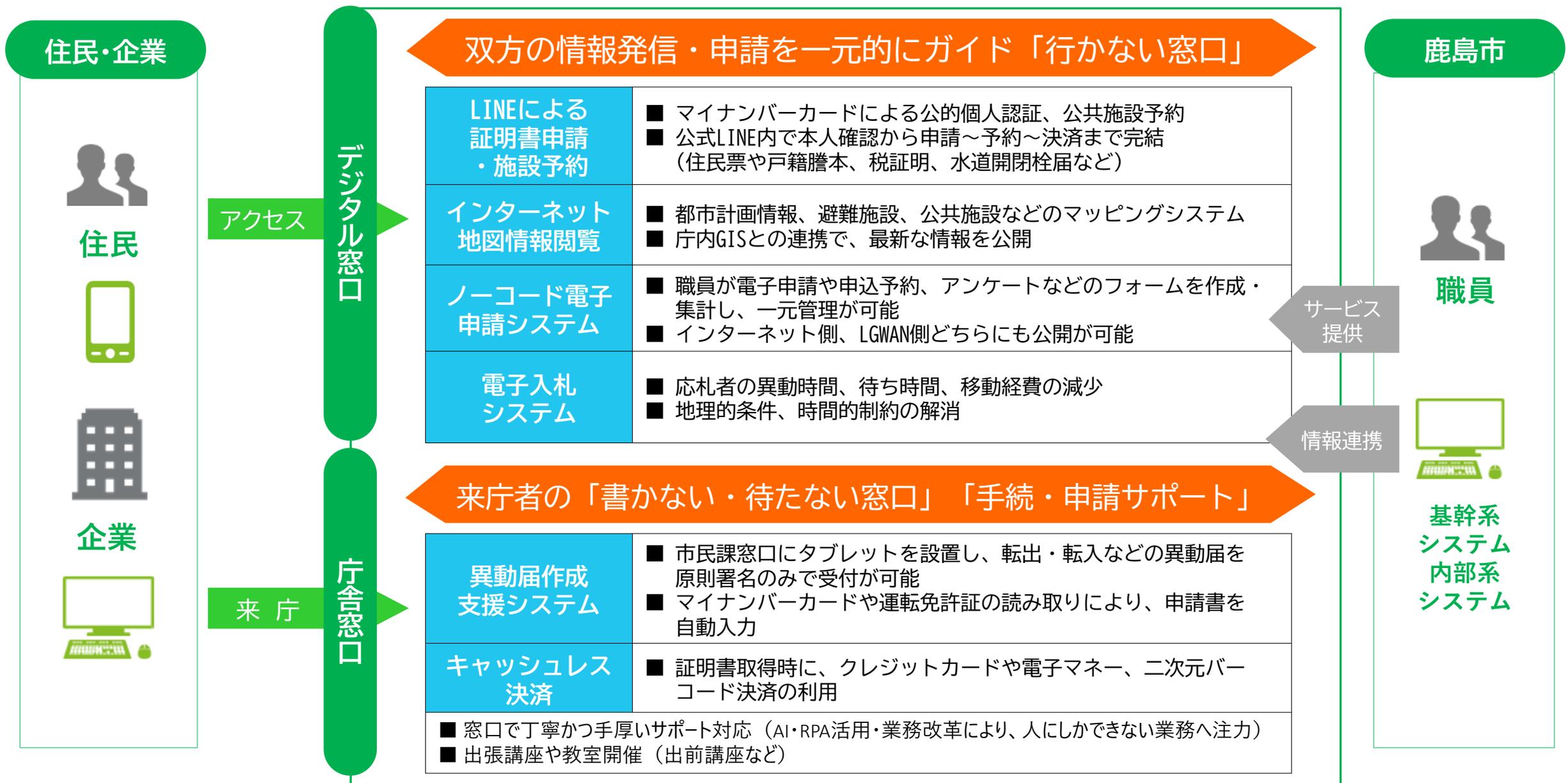
地図情報Web公開
システム整備



事業者サービスDX
(電子入札システム整備)



イメージ／「行かない・書かない・待たない」人にやさしい役所づくり



各分野のデジタルを活用した地域課題の解決に向けて

- ◎ 行政DXだけでなく、産業、環境、交通、観光など、
各分野で、デジタルを活用した地域課題の解決に向けて、取り組んでいきます！

農業 × デジタル



公共交通 × デジタル



環境 × デジタル



観光 × デジタル



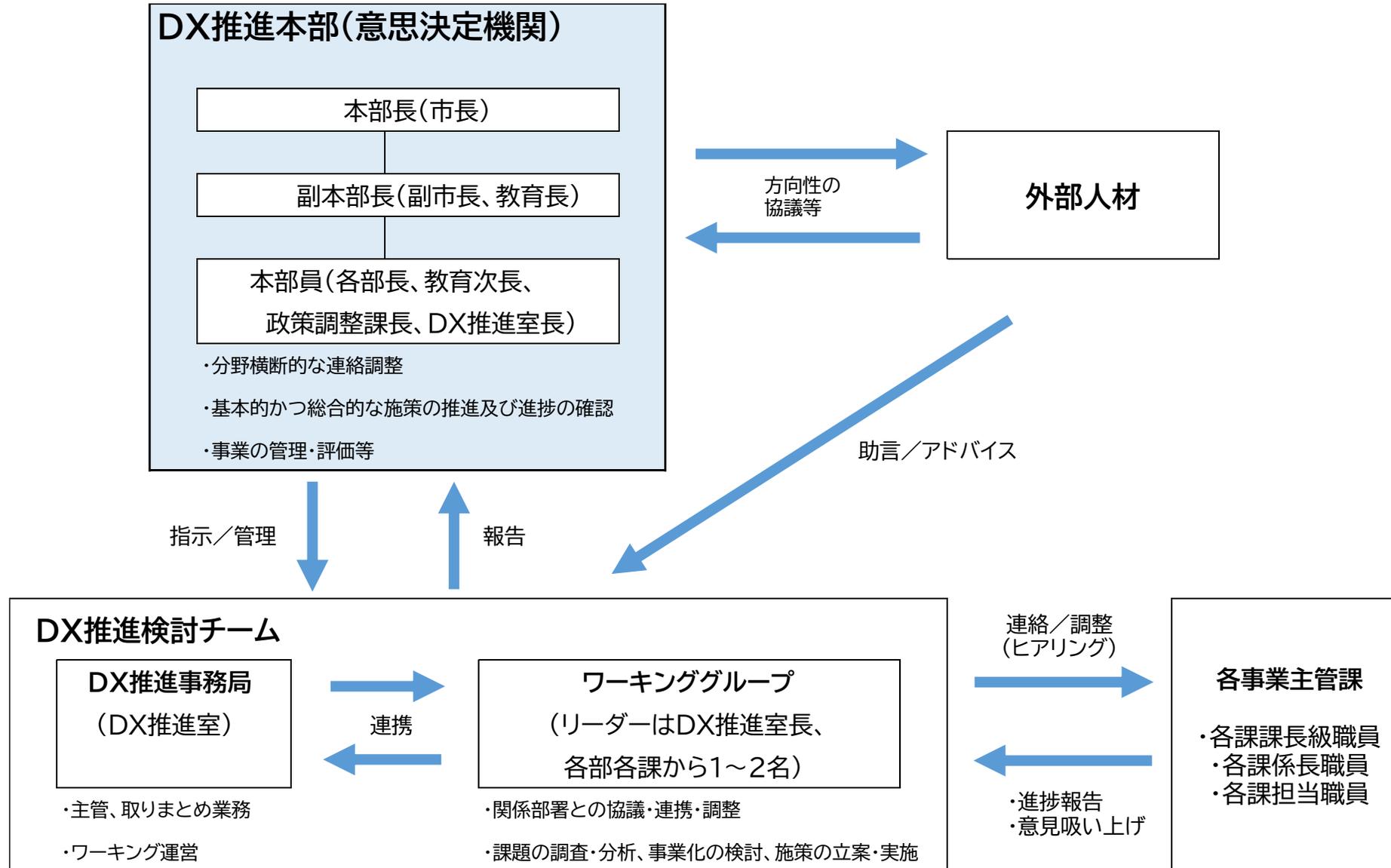
令和6年度 当初予算（主なDX関連事業）

No.	事業名	事業概要	R6年度予算
1	公式LINE(てのひら市役所) 機能拡張	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードによる公的個人認証 ・証明書等申請(住民票、戸籍謄本、税証明、水道開閉栓など) ・公共施設予約(主に体育施設) ・キャッシュレス決済(クレジット、電子マネーなど) 	7,975千円
2	公開型・統合型GIS構築	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の地図情報をデータ化し、地番図、道路情報、都市計画図、上下水道管路、ハザードマップ等地図情報をオンラインで取得可能 	108,955千円
3	ノーコード電子申請システム導入	<ul style="list-style-type: none"> ・職員で電子申請や申込予約、アンケートなどのフォームを作成・集計し、一元管理が可能 	3,703千円
4	書かない窓口システム導入	<ul style="list-style-type: none"> ・市民課窓口にタブレットを設置し、転出・転入などの異動届を原則署名のみで受付が可能 ・マイナンバーカードや運転免許証の読み取りにより、申請書を自動入力 	23,380千円
5	電子入札・契約管理システム導入	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインで行う電子入札システムを導入するとともに、契約管理システムとの連携で市全体の契約事項を管理 	7,199千円
6	窓口キャッシュレス決済	<ul style="list-style-type: none"> ・証明書取得時に、クレジットカードや電子マネー、二次元バーコード決済の利用 	11千円
7	スマート農業の取組支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローン免許や有機JAS・GAP資格取得等への支援(1人当たり5万円) 	250千円
8	カモの食害対策の誘導実験	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンにカモが嫌がるLEDを改良したものとGPSを搭載し、カモの誘導を行い、食害被害を防止 	2,200千円
9	デジタルマガジン配信	<ul style="list-style-type: none"> ・大手出版社のデジタルマガジンにより、70周年イベント等の情報発信 	2,000千円

デジタル交付金(デジタル実装タイプ)

(地方創生タイプ)

【参考】 かしまデジタル変革（DX）戦略の推進体制



【参考】 かしまデジタル変革（DX）戦略の体系図

基本理念 (ミッション)

『市民目線』の行政サービスや業務のデジタル活用による、みんなが住みやすく暮らしやすいまち

市民の目線に立ち、一人ひとりに寄り添い、行政サービスや業務においてデジタル技術を効果的に活用することで、総合計画で掲げる「みんなが住みやすく暮らしやすいまち」を実現することがDX戦略の使命であり、本市がDXを推進する理由です。

将来めざす姿 (ビジョン)

市民の利便性向上

- ①市民は、最適な（いつでも・どこでも・どんな方法でも）手続きの仕方を選ぶことができます
- ②市民は、手続きの手間を最小限に抑えることができます（書かない・待たない・回らない）
- ③市民は、市役所から必要な情報を適時に受け取ることができます
- ④市民は、施設やサービスをより利用しやすくなります

業務の効率化

- ①職員は、業務の自動化等により、政策立案や市民サービスの提供など、人しかできない業務に専念できます
- ②職員は、互いにサポートしあって、ムダなくスムーズに仕事ができます
- ③職員は、紙の書類を探さなくとも、すぐに必要な情報を取り出すことができます
- ④職員は、最適な場所・環境で仕事ができます

人財育成

- ①職員は、デジタル分野について基本的なことを共有できています
- ②職員は、根拠をきちんと理解した上で、基本的なシステム操作ができます
- ③職員は、現状をきちんと分析し、最適なシステムを導入・利用できます
- ④職員は、主体的に新しい知識・技術の習得に努め、デジタル技術を積極的に取り入れることができます

本戦略を推進するうえでの、将来の鹿島市のあり方であり、市民や職員が日常的に感じる「課題・疑問」が解決された後の鹿島市の目指すべき姿です。

職員の行動指針 (バリュー)

- ① DXは利用者目線で進めます
- ② DXはデジタルを手段に業務改革前提で進めます
- ③ DXは庁内組織の縦割りを排し垣根を取って進めます
- ④ DXは全体最適化を念頭にトータルコストを意識して進めます
- ⑤ DXはチャレンジ精神を持って行動・挑戦して進めます

本戦略を推進するうえでの、本市職員として行動する際の5つの心構えです。これをDX推進の原点とし、常に心に留めておき、また折りに触れて原点に帰ることでDXの意義を組織に根付かせます。

戦略・戦術 (アクションプラン)

各課の具体的な取組

(かしまデジタル変革戦略アクションプラン)

ミッション・ビジョンを実現するために実行する個別の具体的な取組であり、ダメなら方向転換ができるように適宜検証・見直しを行います。